



ながの

長野家畜保健衛生所  
北信家畜畜産物衛生指導協会  
〒380-0944 長野市安茂里米村1993  
Tel 026-226-0923 Facs. 026-227-2665  
E-mail:nagakachiku@pref.nagano.lg.jp

## 分娩間隔延長の原因は何か？その対応法は？？？

繁殖遅延の損失額は甚大！！

2月に入り立春も過ぎた時期ですが、連日の厳しい寒さが続いており、雪の被害も心配です。ノロウイルス、インフルエンザ等も流行しているようです。健康の管理には十分お気をつけ下さい。さて、1月24日付「家畜衛生広報ながの」で、平成24年の乳用牛群能力検定成績が公表され、「泌乳能力にはめざましい向上が見られた。しかし、分娩間隔は大幅に延長し経済的損失も甚大である」との状況を説明しましたが、今回の広報では、繁殖遅延についてもう少し詳しくご紹介します。

### えっ、こんなに！！ 繁殖遅延の経済損失

先の広報でも空胎による経済損失について記載しましたが、一般的に、繁殖遅延1頭1日あたりの経済損失は**1200円から1500円**とされています。

これは、①**泌乳期間が延長**することによる**損失**（ピークが低く、**後期乳量がダラダラ続く**メリハリの無い泌乳曲線となり、一乳期で見ると乳量が多く見えるが、1日あたりの平均乳量を計算すると**全然少ない**。早期の受胎は急激に乳量が減少するように思えるが、むしろ**平均日量が多い**。）が最も大きく、そのほか②**子牛販売数の減少**。③**診療、授精料金の増加**。④**乾乳期間の延長**による損失。⑤**後継牛の減少**による損失。など繁殖遅延に関する各種の損失を勘案し算出した数値であり、各農場の経営形態等により変化しますが、大きな**経済損失につながる見逃せない重大な数値**です。

### 繁殖遅延の原因は何か？（初回授精日数と分娩間隔の関係）

いったい分娩間隔延長の**最大の原因**はなにか、牛検データを基に**統計学的に分析**すると、初回授精日数と分娩間隔のとの間に有意な正の相関が認められ、**初回授精日数が短い農場ほど分娩間隔が短く、日数が長い農場ほど分娩間隔が延長**していたという結果が得られています。

このことは、言い換えれば、**初回授精までの日数を短縮することが分娩間隔短縮のための解決策**になるということです。

それでは、初回授精日数を短縮させるためには**どうすればよい**のか？。第一には農場が「分娩後80日までに**受胎させるぞ！！**」という**強い意識**を持つことだと思います。そのためには、分娩後**40日までに初回発情を確認**することが重要であり、早期に発情が回帰するような飼養管理も必要ですが、初回授精日数の長短に影響を及ぼしている主な要因は、**農場の意識**によるところが大きいのではないかと考えられます。

もちろん、乾乳から分娩までの飼養管理、飼料の充足とバランス、暑熱対策等の技術も必要ですが、よく言われるように「**繁殖は酪農家個々の人的要素（意識）がポイント**」です。

1日でも早く授精をして分娩間隔を短縮し、経済損失の低減を図るためには、難しい高度な技術というよりよりは、むしろ酪農家が「**早く発情を見つけ、確実に授精する**」ことにこだわりをもつことだと考えられます。是非、この機会に繁殖管理を再確認してみたいかがでしょうか。

## 分娩間隔短縮のためのポイント、新技術を紹介！！

3月4日に酪農生産技術研修会開催（詳しくは裏面へ）

～乳質の改善と繁殖性の向上に向けて～  
平成25年度酪農生産技術研修会開催のご案内

日時：平成26年3月4日（火） 午前11時から午後3時半まで

会場：ホテル信濃路（長野市岡田町131-4 電話：026-226-5212）

<<<<研修会日程>>>>

- 11:10～11:20 長野・北信地域の乳質改善への取組（長野家保）
- 11:25～11:40 農場HACCPへの取組による乳質改善効果（黒姫高原牧場 土屋貴志先生）
- 11:40～12:20 ランチョンセミナー（新たな長期不受胎解消対策。タブレット活用による繁殖管理）
- 12:40～14:00 乳牛の衛生管理とその経済効果（麻布大学 河合一洋先生）
- 14:10～15:10 繁殖障害の影響と繁殖性向上技術の実際（家畜改良事業団 鬼頭武資先生）

研修内容のご紹介

- 酪農家であり(有)黒姫高原牧場代表でもある土屋先生からは、ご自身の農場における農場HACCPへの取り組みの概要とこれによる乳質改善の効果についてのお話があります。
- 麻布大学の河合先生からは、乳牛の衛生管理、乳質改善に関する技術とともにそれぞれの取り組みに伴う経済効果についてお話があります。乳質と繁殖の間にもいろいろな関連があるらしいですよ。
- (一社)家畜改良事業団前種雄牛センターの業務第二課長である鬼頭先生からは、分娩間隔を短縮するためのポイント、長期不受胎牛解消のための新技術等についてのお話があります。
- 当方で昼食を準備します。昼食を取りながら、分娩間隔短縮のための新たな取り組み、最近の携帯コンピュータ一端末の一種であるタブレットを利用した繁殖管理の実例等をセミナーのなかで紹介します。

研修会参加申込書

長野家畜保健衛生所 あて

住 所	氏 名

\* 昼食準備等の都合がありますので、研修会への参加を希望される方は、本紙を2月21日（金曜日）までに、長野家保（FAX番号：026-227-2665）あてファックスしてください。

電話（026-226-0923）連絡でも結構です。多数の参加をお願い申し上げます。